

柏市中央公民館 課題と今後の方向性

【根拠法令】

公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。（社会教育法第20条）

【特性】

- ・市内唯一の公民館である
- ・教育福祉会館（ラコルタ柏）の3F～5F部分を構成。1F～2Fの総合福祉センターと共に、教育と福祉の一体的運営に取り組んでいる。
- ・館のコンセプトは「誰もが集える、みんながつながる、地域へ広がる」

1 課題

- 教福連携の視点から、それぞれが抱える課題に則した取組みを進めていくこと
- 「いつでも、誰でも、どこでも学べる」を具体化するため、事業のアウトリーチ展開を図ること
- 館を真に市民の主体的な活動の場とするためのきっかけづくりと人材育成
- そのために、3Fオープンスペース等を、館のコンセプトに資する場として活性化すべく、有効な手段を講じていくこと
- 様々な情報の発信を通じて、館の認知度を高めること

2 今後の方向性（R5年度）

- 3Fオープンスペースを核とした「集い」のきっかけづくり
- 事業の定期的な開催により定番化を印象付け，リピートに繋げる
- 学生（中～大学生）の参画を促す
- SDGs 関連の講座を実施する
- 「学校卒業後における障害者の学びの支援事業」（県の事業）への参加
- アウトリーチ型の事業展開を検討する

3 課題達成のための手段（R5年度）

- 全館をあげての「ラコルタ柏フェスティバル」を実施
- ラコルタ柏コーディネーター企画による連携講座を実施
- 行政課題として、高齢者のデジタル活用や、SDGs、介護問題への取り組みを視野に入れて、他部署や民間との協力を得ながら、近隣センターなどと連携し、市内各地で業務展開していく
- 講座受講後に、受講生の自主的な取り組みを促しながら、自主活動支援講座へと繋げていき、最終的には、自主活動グループの形成を目指す。また、その自主活動グループのメンバーに、公民館講座の講師のサポートや講師を務めてもらう
- 対象者や状況に応じて、SNS・紙媒体など周知の手段を使い分けたり、アピール性を高める点を意識するなどして、情報発信の工夫に取り組む
- 附属機関の委員に若い世代（学生、子育て世代など）を取込み、その方達の声が館の運営に反映させていく